

Case 29-2017

A 59-Year-Old Woman with Pain and Swelling in the Right Hand and Ankles

(N Engl J Med 2017;377:1189-95.)

【患者】 59 歳女性

【主訴】 右母指と両足関節のこわばり、腫脹、激しい痛み

【現病歴】

来院 9 日前、右母指 MP 関節にこわばり、腫脹、疼痛が出現し、着衣などの動作が制限されるほどであった。こわばりは朝より日中のほうが強く、1 日中改善しなかった。評価のために前医を受診し、手と手首のレントゲンは正常とのことだった。

来院 6 日前、両足関節にも腫脹と疼痛が出現し、かかりつけ医を受診して 6 日間で漸減する経口メチルプレドニゾロンを処方された。4 日間服用した時点で関節痛が徐々に増悪し、歩行困難となった。評価のために当院を受診した。

【Review of System】

〈陽性所見〉 進行する関節痛

〈陰性所見〉 発熱、悪寒、盗汗、外傷、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、咳嗽、鼻漏、排尿障害、皮疹、
ドライマウス、ドライアイ、口腔内・鼻腔内の病変、他の関節痛

【既往歴】 脳卒中、緑内障、7 年前に月経過多に対し子宮摘出術および両側付属器切除術

【生活歴】 イギリス在住。海外渡航歴なし。医療関係者。針刺し事故を起こしたことはない。

ペットは飼っておらず、アウトドアはあまりしない。飲酒・喫煙・違法薬物なし。

【内服歴】 アスピリン、アトルバスタチン

【身体所見】

全身状態：良好

体温：36.6°C、血圧：117/58 mmHg、脈拍：73 bpm、呼吸数 18 /分、SpO₂：99% (room air)

口腔・鼻腔：正常、潰瘍なし、扁桃腫大なし 心音：I → II → III(-)IV(-)、心雑音なし

呼吸音：正常で左右差なし、ラ音なし 腹部：腸蠕動音正常、平坦・軟、圧痛なし、肝脾腫なし

皮膚：皮疹なし、毛細血管拡張なし

関節：右母指 MP 関節は発赤・熱感を伴い、運動時痛・圧痛を認める。両足関節は、関節液貯留し熱感を伴うが発赤はない。背屈、底屈、回内、回外での運動時痛および圧痛を認める。他の関節は正常。

【検査所見】

項目	結果	基準値	項目	結果	基準値
電解質	正常		白血球	13,300 /mm ³	4,500~11,000 /mm ³
血糖値	正常		抗核抗体	陽性 (1:40) Speckled pattern	
肝機能	正常		尿定性	正常	
腎機能	正常		細菌	-	
CRP	47.7 mg/L	<8.0 mg/L	赤血球沈渣	-	
赤沈	62 mm/h	0~20 mm/h	白血球沈渣	5~10/視野 (強拡大)	0~2/視野

両足 X 線写真では、散在する変性変化 (degenerative changes) を軽度認めるものの、転位骨折や脱臼は見られなかった。胸部 X 線写真は正常であった。

患者は入院となり、診断的検査が施行された。

★ プロブレムリストと鑑別疾患を挙げてみましょう

Memo